

# PROTECH® インターカムステーション **FD-900S** 取扱説明書

この度は FD-900S をご利用くださいまして誠にありがとうございます。  
弊社製品をお使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

## ■主な特長

BNCケーブル接続有線式インターカムステーション。

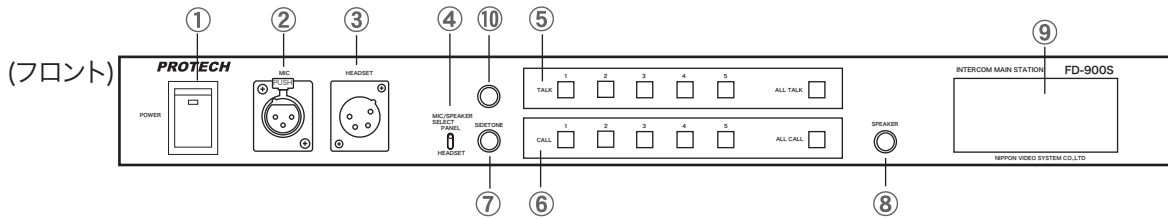
FD-400Aへ電源供給可能。

CALL機能装備。CALL押しボタンにより子機(FD-400A)のTALLY/赤色LEDが点灯、視覚的に呼び出し可能。

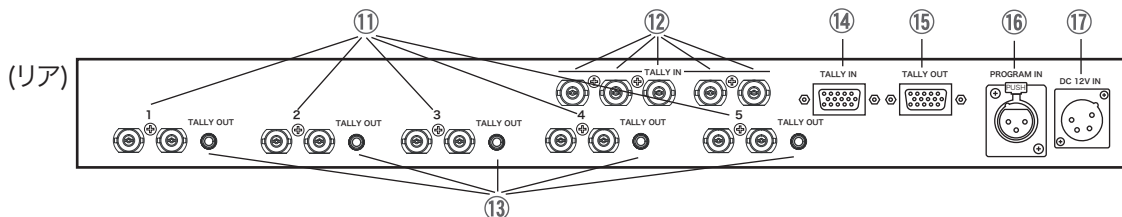
TALLY機能/タリー信号入出力コネクタ装備。外部タリー信号入力により FD-400Aのタリー赤色LED表示可能。

また同時にFD-900SのCALL押しボタンの赤色LEDも点灯、タリー表示可能。

## ■各部名称と働き



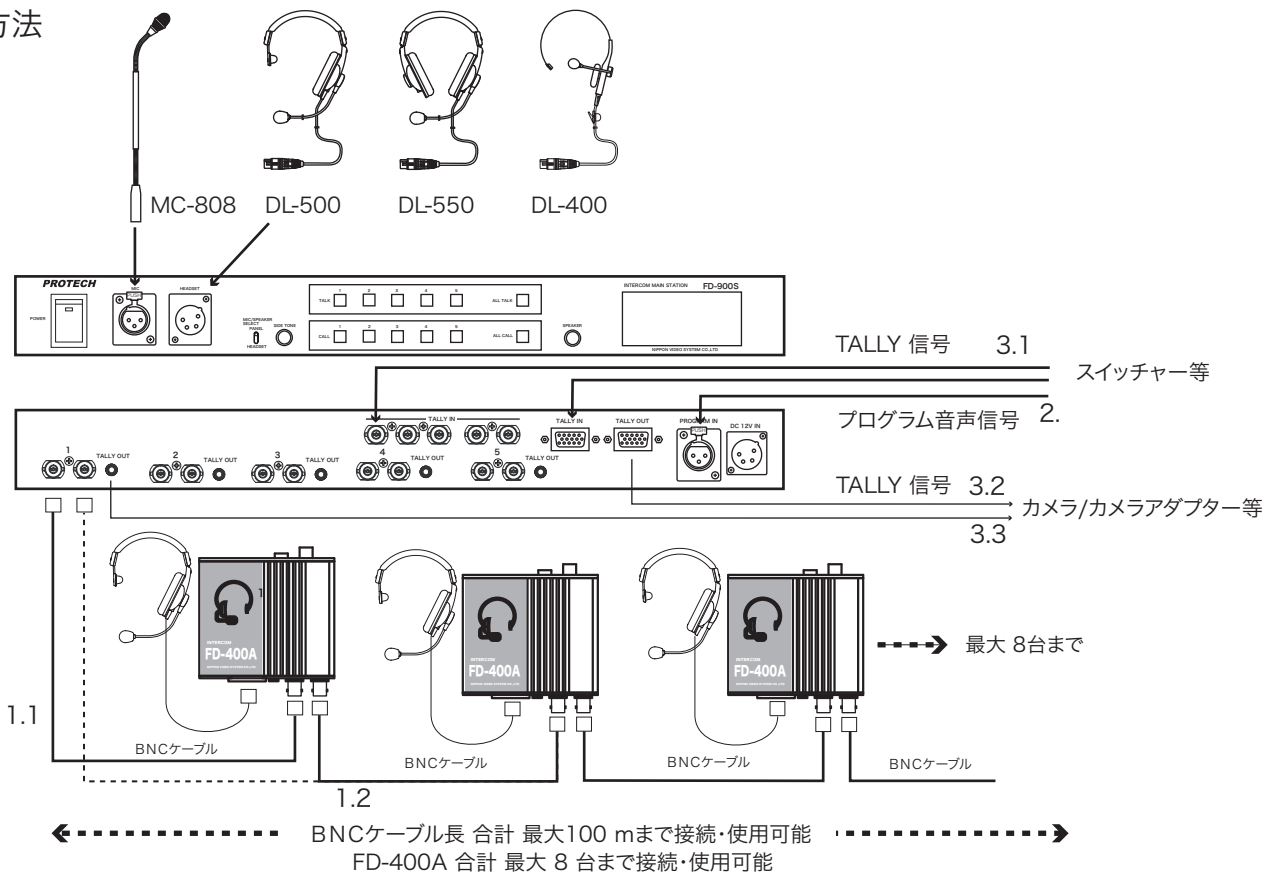
- ① POWER 電源スイッチ：電源をON/OFFします。
- ② MIC マイクコネクタ (XLR 3P メス)：マイク(MC-808 別売オプション)を接続。(入カインピーダンス600Ω)
- ③ HEADSET ヘッドセットコネクタ (XLR 4P オス)：ヘッドセット(DL-500/DL-550 別売オプション)を接続。
- ④ MIC/SPEAKER SELECT PANEL/HEADSET 切替スイッチ：マイク/スピーカーとヘッドセットとを切り替えます。  
PANEL(上側) = 前面パネルのMICコネクタに接続されたマイクおよびスピーカーを使用するとき  
HEADSET(下側) = HEADSETコネクタに接続されたヘッドセットを使用するとき
- ⑤ TALK 1/2/3/4/5 /ALL スイッチ：通話するラインのスイッチをONします。(LED点灯)  
ALL スイッチをONするとすべてのラインと通話できます。
- ⑥ CALL 1/2/3/4/5 /ALL スイッチ：CALL スイッチを押すと各ラインまたは全ラインのFD-400Aの  
TALLY表示LED(赤色)が点灯し、視覚的に呼び出しできます。
- ⑦ SIDETONE ボリューム：自分のマイクの音声が自分のスピーカー(ヘッドホン)にもどる音量(サイドトーン)を調整します。
- ⑧ SPEAKER ボリューム：スピーカーまたはヘッドセットのスピーカーの音量を調整します。
- ⑨ スピーカー：SELECTスイッチをPANEL側に切り替えると、スピーカーおよびMICコネクタのマイクが機能します。  
SELECTスイッチのHEADSET側では、スピーカーおよびマイクでの通話はできません。
- ⑩ PROGRAM ボリューム：ラインにミックスされるプログラム音声の音量レベルを調整します。



- ⑪ 1/2/3/4/5 インカムラインFD-400A接続コネクタ (BNC×2×5)：BNCケーブルでインカムFD-400Aを接続します。  
1～5各ライン 2個(同機能)のBNCコネクタにそれぞれ2個以上のFD-400Aが接続可能です。  
1～5各ラインそれぞれ 8台までFD-400Aが接続可能です。  
また、各ラインは、独立して電源を装備しているので、他のラインが故障、停電しても影響を受けず動作可能です。
- ⑫ TALLY IN コネクタ (BNC×5)：スイッチャー等からTALLY信号を入力します。
- ⑬ TALLY OUT コネクタ (3.5φミニジャック×5)：カメラ、カメラアダプター等へTALLY信号を出力できます。
- ⑭ TALLY IN コネクタ (HD D-sub 15P×1 メス)：TALLY信号を HD D-Sub 15Pケーブルで入力できます。
- ⑮ TALLY OUT コネクタ (HD D-sub 15P×1 メス)：TALLY信号を HD D-Sub 15Pケーブルで出力できます。
- ⑯ PROGRAM IN プログラム音声ミックス入力コネクタ (XLR 3P メス)：プログラム音声を入力し、インカムラインに  
ミックスして送出できます。前面パネルのPROGRAMボリュームでミキシングされる音量レベルを調節できます。
- ⑰ DC 12V IN 電源入力コネクタ (XLR 4P オス)：ACアダプター(付属品)を接続して電源を入力します。

(11 V ~ 18 V DC)

## ■接続方法



### 1. インカム接続方法

1.1. 図のように 1~5(ライン)コネクタから BNCケーブルで FD-400AのLINEコネクタ(BNC)へ接続します。

FD-900SからFD-400Aへ電源が供給され、インカム通話ができます。

1.2. 各ライン 2台以上のFD-400Aを接続、使用する場合

1台目のFD-400Aの LINEコネクタから 2台目以降のFD-400Aへ接続できます。2台目以降へも電源が供給できます。

※ 各ライン独立電源装備。FD-400A 合計 最大 8 台程度まで、BNCケーブル長 合計 最大100 m程度まで接続・使用可能です。  
なお、FD-400A 1台単独で接続する場合は、ケーブル長500 m程度まで使用可能です。

### 2. PROGRAM IN プログラム音声接続方法

PROGRAM INコネクタ(XLR 3P メス)へ XLR 3Pケーブルで接続します。  
1~5(ライン)のうち TALKスイッチで選択されたラインにプログラム音声  
がミキシングされます。

PROGRAM IN XLR 3Pコネクタ ピンアサイン

1	GND
2	AUDIO IN HOT
3	AUDIO IN COLD

### 3. TALLY IN/OUT タリー信号接続方法

3.1. TALLY IN タリー信号入力 <BNCまたは HD D-Sub 15P>

TALLY INコネクタへケーブルで接続します。

タリーON/OFF信号は、各端子のショート(接地)/オープンです。

3.2. TALLY OUT タリー信号出力 <HD D-Sub 15P>

TALLY OUTコネクタ からケーブルで接続します。

タリーON/OFF信号は、各端子のショート(接地)/オープンです。

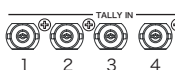
3.3. TALLY OUT タリー信号出力 <3.5φ 3Pミニジャック>

TALLY OUT ミニジャック からケーブルで接続します。

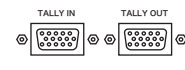
タリーON/OFF信号は、各端子電圧出力 3 V/0 Vです。

TALLY出力 ミニジャックは、FD-400Aにも装備されています。

BNCコネクタ



HD D-Sub 15P メスコネクタ

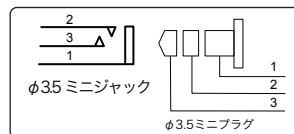


HD D-Sub 15P メスコネクタ ピンアサイン

No.	Signal	No.	Signal	No.	Signal
1	TALLY 1	6	NC	11	NC
2	TALLY 2	7	NC	12	NC
3	TALLY 3	8	NC	13	NC
4	TALLY 4	9	NC	14	NC
5	TALLY 5	10	COM(GND)	15	NC

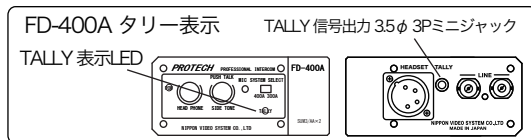
3.5φ 3Pミニジャック

3 : TALLY 信号 = 3 V  
(TALLY LED点灯用)  
タリーユニットTU-10A接続用  
2 : 音声出力(テスト用)  
1 : GND



タリーユニットTU-10A(別売オプション)を使用する場合は、  
TU-10Aをカメラ等に取り付け、専用ケーブルで接続します。

※ TALLY タリー表示LED : タリー信号が入力されているとき、  
FD-900Sに接続されたFD-400AのタリーLEDが赤色に点灯します。  
FD-900SのCALL押しボタンのLEDも赤色に点灯し、確認できます。



## ■使用方法

### 1. インカム通話

#### 1.1. (接続) (LINE)1～5コネクタそれぞれに FD-400Aを接続します。

プログラム音声を入力する場合は、PROGRAM INに XLR 3Pケーブルで接続します。

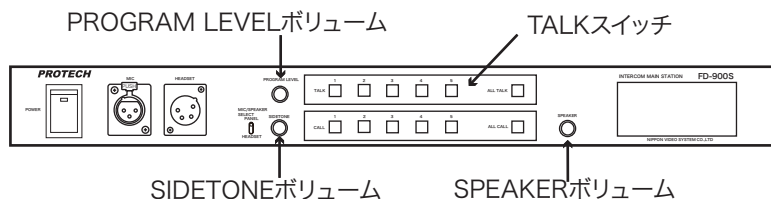
#### 1.2. ヘッドセットを使用する場合は、HEADSETコネクタに接続し、SELECTスイッチをHEADSET(下側)にセットします。

#### 1.3. (電源) FD-900S本体のPOWER電源スイッチをONします。接続されたFD-400Aへは常時電源が供給されます。

※注意:FD-400Aの電源は、FD-900Sからの外部電源/乾電池内部電源自動切替になっていますので、FD-900Sの電源をOFFすると、自動的に内部電源に切り替わります。FD-400Aに乾電池が入っている場合はFD-400Aの電源スイッチがONになっていると動作状態のままになり、乾電池は消耗しますのでご注意ください。

#### 1.4. (通話) TALKスイッチ1/2/3/4/5/ALL(全ライン) がONのラインの全FD-400A間で同時通話可能状態になります。

通話が必要なラインのTALKスイッチをONして通話します。全ラインとの場合はALLスイッチをONします。ALLスイッチをOFFした後は、TALKスイッチ1～5のON/OFFの状態は、ALLスイッチをONする前の状態を保持しています。



#### 1.5. (音量調節) SPEAKERボリュームで、パネルのスピーカーまたはヘッドホンのスピーカーの音量を調節します。

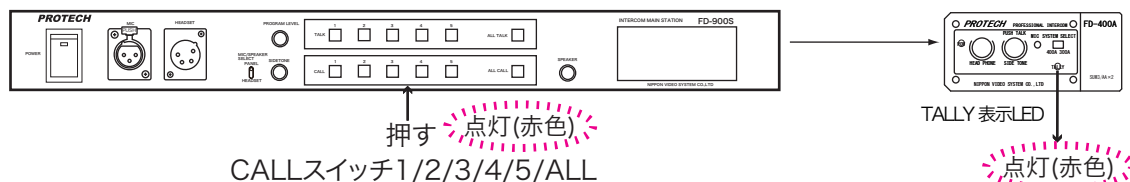
SIDETONEボリュームで、自分自身のマイクの音声がスピーカーにもどる音量を調節します。

PROGRAM LEVELボリュームで、プログラム音声ラインにミキシングされる音量を調節します。

**注意** スピーカー使用時には、スピーカーの音声がマイクに入ってハウリングを起こすことがあります。ハウリングを起こさないようにするには、SIDETONEボリュームを調節してください。

### 2. CALL 呼び出し機能

CALLスイッチ1/2/3/4/5/ALL(全ライン)を押すと、それぞれのラインのFD-400AのTALLY LEDが赤色に点灯してヘッドホン音声で呼び出しできないFD-400Aに視覚的に知らせることができます。



3. TALLY タリー機能 : タリー機能は、CALL機能を外部からのタリー信号入力により動作させるもので、各ラインに接続されたFD-400AのTALLY表示LEDを点灯する機能です。また、タリー信号を外部機器へ出力することができます。

#### 3.1. (接続) TALLY IN 1～5 (BNC)または TALLY IN (HD D-Sub 15P) コネクタに タリー信号を接続します。

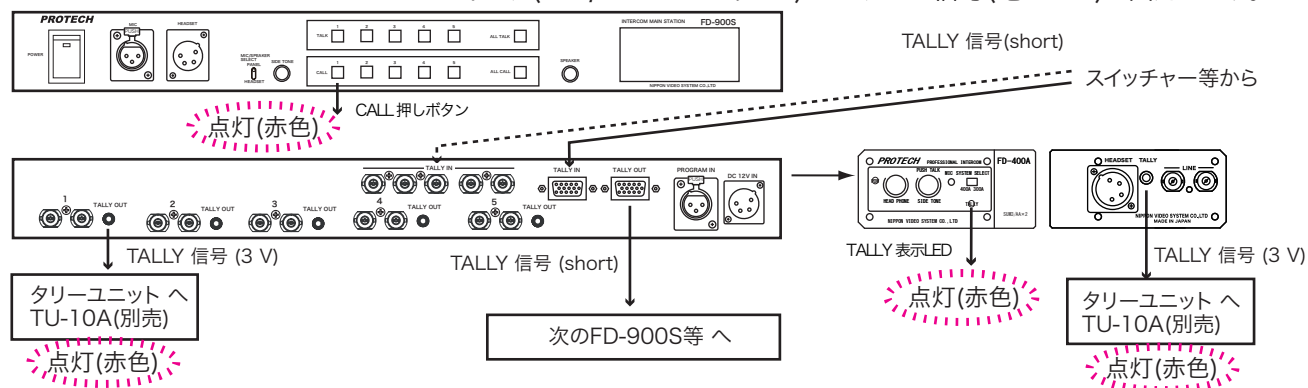
タリーON/OFF信号は、各端子のショート(接地)/オープンです。

#### 3.2. (表示) FD-900S では、CALLスイッチの押しボタンのLEDが点灯(赤色)します。

FD-400A では、TALLY表示LEDが点灯(赤色)します。

#### 3.3. (タリー信号出力) FD-900S では、TALLY OUT(HD D-Sub 15P) コネクタからタリー信号を出力します。

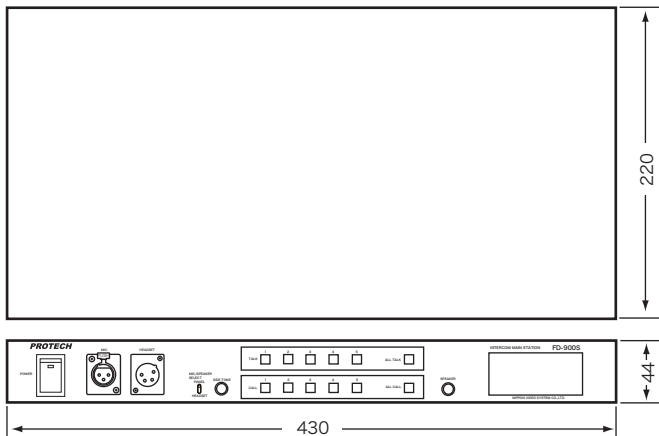
また、FD-900S のTALLY OUT 1～5コネクタ(3.5φ 3P ミニジャック)および FD-400A のTALLY コネクタ(3.5φ 3P ミニジャック) からタリー信号(電圧 3V)を出力します。



## ■仕様

形式	BNCケーブル接続有線式インカムステーション, インカムFD-400A用		
入力/出力	インカムライン入出力	ライン入力/出力 1 ~ 5	BNC × 2 × 5
	TALLY	TALLY IN	BNC × 5
		TALLY OUT	3.5φ ミニジャック × 5
		TALLY IN	HD D-Sub 15P メス × 1 (固定ネジインチタイプ)
		TALLY OUT	HD D-Sub 15P メス × 1 (固定ネジインチタイプ)
	ヘッドセット	HEADSET	XLR 4P オス × 1
	マイク	MIC	XLR 3P メス × 1, 入力インピーダンス= 600Ω
スピーカー		ダイナミックスピーカー × 1	
DC電源	プログラム音声MIX入力	PROGRAM IN	XLR 3P メス × 1, 基準レベル= -10 dB
	DC電源入力コネクタ	DC 12V IN	XLR 4P オス × 1
DC電源	DC電源入力電圧/消費電力	11 ~ 18 V DC/ 約 15 W	
	動作温度	0°C ~ +40°C	
一般	保存温度	-20°C ~ +50°C	
	寸法 (W×H×D)	約 430×44×220 mm	
	質量	約 3.5 kg	
付属品	ACアダプター/ラックマウント金具/取扱説明書/保証書		

## ■外形寸法図



**注意** デザイン・仕様は、予告なく変更することがあります。

## ■オプション

FD-400A	BNC有線式インターカム
DL-500	密閉型片耳インターカムヘッドセット
DL-550	密閉型両耳インターカムヘッドセット
DL-400	オープンエア型片耳インターカムヘッドセット
MC-808	フレキシブル(ダブルグースネック)マイクロホン
TU-10A	タリーユニット

この製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害(情報内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。取扱説明書の記載内容を守らないこと、あるいは取扱説明書の記載内容の誤記、等により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## 安全上の注意

必ずお守りください。

### 警告

『死亡または重傷などを負う可能性が想定されます。』必ずお守りください。

- 煙が出ている、変なおいや音がする等の異常状態の場合は、電源スイッチを切る!
- 本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切る!
- 本機を落としたり、破損した場合は、電源スイッチを切る!
- 本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切る!
- そのまま使用すると、感電・事故をおこすおそれがあります。
- お買い上げの販売店またはPROTECHサポートセンターにご相談ください。



### 注意

『傷を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定されます。』必ずお守りください。



水場禁止

■本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない! こぼれて、本機内部に入ると、故障や事故をおこすおそれがあります。

■機器がぬれたり、水が入らないようにする! 火災・感電をおこすおそれがあります。雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。

■水場で使用しない! 火災・感電の原因となります。



分解禁止

■機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない! 火災・感電の原因となります。

■本機を改造しない! 火災・感電の原因となります。

■本機の裏フタ・カバー・キャビネット等をはずさない! 火災・感電の原因となります。

点検・整備・修理は、お買い上げの販売店またはPROTECHサポートセンターにご依頼ください。

## お問い合わせ窓口

○website <http://www.protechweb.jp> ○e-mail [support@protechweb.jp](mailto:support@protechweb.jp)

## PROTECH® サポートセンター

☎ 0567-24-4581

○受付時間 午前10時~12時・午後1時~6時まで (土・日・祝日を除く)

(株) 日本ビデオシステム プロテックサポートセンター

〒496-8005 愛知県愛西市諸桑町郷城 2 1 8 番地

TEL 0567-24-4581 FAX 0567-24-4577

会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。PROTECH は日本ビデオシステムの登録商標です。

20180730